

今日の話は、新春恒例となりました冬休みの宿題についてです。内容は去年、一昨日と同じく、こうです。「世界を、この世の中を、今よりもっと良くするために、これから自分に何ができるか、何をしたらよいのか。」考えて来てくださいというものでした。今回はあらかじめ、皆の前で発表したい人に答えて貰いたいとも話しましたが、残念ながら希望者がいませんでしたので、私から指名させて貰います。2年生は今、3人を指名しました。3年生は今回で3回目なので、その場でいきなり3人を指名させて貰います。

でもその前に、皆さんがそれぞれ考えてきたことを、全員がせめて誰か一人には伝えて欲しいと思うので、去年や一昨年と同じように、まずは2人組で伝え合ってもらいます。奇数クラスの方は左を向いてください。偶数クラスの方は右を向いてください。奇数クラスと偶数クラス、それぞれ向かい合った隣のクラスの人同士、2人で握手をするなり、挨拶をするなりして、相手を確認してください。ではまず、お互いの自己紹介の時間を30秒だけ取ります。どうぞ。

それでは次に、始めに1分間で自分の考えを頭の中で整理して貰います。次に奇数クラスの方が偶数クラスの相手に、1分間で自分の考えを伝えて貰います。次に交代して、偶数クラスの方が奇数クラスの相手に1分間で自分の考えを伝えて貰います。一言や二言三言で終わらないよう、しっかり1分間を使って伝えてください。

では、自分の考えを頭の中で、黙って整理しましょう。始め・・・やめてください。

では、奇数クラスの方が偶数クラスの相手に、1分間で自分の考えを伝えてみましょう。用意、始め・・・やめてください。

次に偶数クラスの方が奇数クラスの相手に、1分間で自分の考えを伝えてみましょう。用意、始め・・・やめてください。

さて、それではいよいよ発表して貰います。

2年〇組 〇〇さん。（「思いやりの大切さ」について発表してくれました。）

2年〇組 〇〇くん。（「身近な場面でも世界の平和でも、少しの心構えの違いによって大きく変わる。自分や相手の怒りの感情の理由を考えたり、自分の意思をきちんと伝えたかどうかを確認したりすることで、争いは解決できる。」という主旨の発表をしてくれました。）

2年〇組 〇〇さん。（「日本人は睡眠時間が短いので、早寝早起きして睡眠を確保することが大切で、それによって気持ちに余裕も出る。」という主旨の発表をしてくれました。）

3年〇組 〇〇くん。（「相手への感謝の気持ちを常に持って生活するべきで、それによって相手のことを考えられるようになり、ありがとうと伝えることで、良い和ができる。」という主旨の発表をしてくれました。）

3年〇組 〇〇さん。（「他国の言語と文化を学ぶことで、広い世界で物事を考えられるから、自分も成長できるし、社会のためにもなる。」という主旨の発表をしてくれました。）

3年〇組 〇〇くん。（「100万円を皆に配る」旨の発表をしてくれました。）

ありがとうございました。では次に、先生方お2人に発表してもらいましょう。

〇〇先生、お願いします。（「自分の身の周りの人のことを気遣って、自分のできる小さなことをすること。東日本大震災で感じたことで、人から親切にされたり優しくして貰えたりすると、なぜか自分も人に親切にしたり優しくしたりできるので、そうやって色々な人に伝わって、広がっていくのではないか。」と発表してくださいました。）

次に〇〇先生、お願いします。（「10年くらい前のアメリカ映画「ペイ・フォワード」を紹介したい。君たちと同じくらいの生徒に、社会科の先生が「世の中を変えるために、君たちに何ができるか」という夏休みの宿題を出すという物語。見ず知らずの人から親切にされる、いくつものエピソードが描かれている。」と発表してくださいました。）

ありがとうございました。

さて、毎年言っていることですが、皆さんはもう、世の中を良くするための第一歩を踏み出しました。2学期の終業式で出した課題について、自分だったらどうかと考えること、そして自分なりに意識すること。それが、世の中を良くするための第一歩です。その内容は、例えば自分の進路の問題であったり、もっと社会的なことであったりするかも知れない。けれども、小さなことでもいいから、人ごととしてではなく、自分に関わることとして、自分の頭で考えることが大事だと思います。

次は、それを人に伝えて、そして実行に移しましょう。

そんなに大それたことはできないかも知れない。「犯罪をなくす」とか「国と国との紛争を解決する」とか、簡単にできるものではない。

でも、何度も言ってきたように、「たいしたことはできない」と「何もできない」は根本的に違います。物事を解決することはできなくても、少しだけでも変えることはできる。私はそう信じています。「世の中」に対してはできなくても、自分の身近な人にだったら、何かできるかも知れない。

そうした小さな行動が周囲の人を良い気持ちにできれば、〇〇先生がおっしゃったように、人の善意は波紋のように少しずつ広がります。そして、その波紋に触れた人は同じように「世の中を、今よりもっと良くするために」と考えて行動するようになるかも知れません。「世の中を少しでも良くする」ために自分にできること、すべきことを、自分で意識して、考えて、実行してください。

今年が皆さんにとって、去年より少しでも良い年になりますよう。

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。